

# 『LINE BOTを作ろう！』

(翔泳社編集部による補足資料：2018年07月10日版)

## 1. HerokuでDropboxが使えなくなります

本書では、PHPスクリプトの動作環境としてHerokuを利用しています。しかし、デプロイのために利用しているDropbox連携が、2018年7月24日をもって使えなくなります。

そこで、本稿では、書籍016ページから紹介している「Dropboxと接続する」という項目の代わりとして、Gitを使ったデプロイの方法を紹介します。

## 2. 前提となる準備

本項では、書籍014ページにある、「Heroku CLIのインストール」を参考に、Heroku CLIのインストールおよび認証が完了しているものとして解説します。もし、Heroku CLIのインストールや認証が済んでいない場合は、同項目を参考にして、完了させておいてください。

なお、Windowsでは、コマンドプロンプトで、mac OSではターミナルで、`heroku login`というコマンドを実行し、Herokuにログインしておきます。その際、ユーザー名とパスワードを要求されるので、Herokuのユーザー名とパスワードを入力します。

さらにHeroku上では、書籍015ページ「プロジェクトの作成」を参考に、プロジェクトを作成しておいてください。

また、エディタやPHPも018ページ以降を参考にインストールを完了しておいてください。

## 3. Gitの準備 (Windows & mac OS)

本稿では、Herokuへのデプロイのために、Gitというバージョン管理システムを利用します。

お使いのシステムにGitがインストールされていない場合、次の手順でインストールしてください。

### 3.1. セットアッププログラムのダウンロード

セットアッププログラムをダウンロードするために、まずGit公式サイトダウンロードページ（《URL》<https://git-scm.com/downloads/>）を開きます。

Windowsをお使いの方は [Windows] リンクを、mac OSをお使いの方は、 [Mac OS X] リンクをクリックし、セットアッププログラムをダウンロードします。

通常はリンクをクリックすることで自動的にダウンロードが開始されますが、もしダウンロードが始まらない場合は [click here to download manually] リンクをクリックしてください。

## 3.2. Gitをシステムにインストールする

ファイルのダウンロードが終わったら、ダウンロードされたファイルを開き、画面上の指示にしたがってシステム上にインストールしてください。なお、その際、必要なツールなどが表示されたら、その指示にしたがってそれらもインストールしてください。

インストールが完了したら、念のためシステムを再起動してください。

## 3.3. Gitを動かしてみる

### 3.3.1. Git Bashを立ち上げる（Windowsの場合）

Windowsでは、コマンドプロンプトからGitを利用することもできますが、本稿では、 [スタート] メニューから [Git Bash] を立ち上げ、表示されたターミナルウィンドウを利用します。



図 : Git Bashのウィンドウ

### 3.3.2. ターミナルを立ち上げる（mac OS）の場合

mac OSでは、ターミナルからGitを利用します。ターミナルを開いておきましょう。

### 3.3.3. Gitのバージョンを確認する

WindowsではGit Bashで、mac OSではターミナルで、以下のコマンドを入力します（先頭の「\$」は入力しません）。

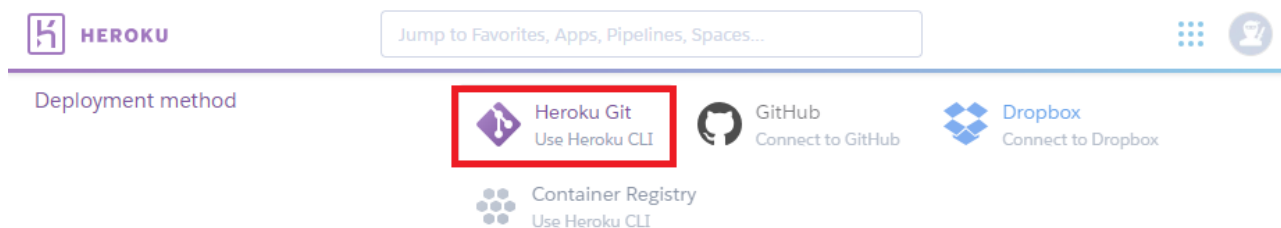
```
$ git --version
```

Gitのバージョンが表示されたら、準備は完了です。

## 3.4. HerokuプロジェクトにGitを設定する

次に、Herokuプロジェクトのデプロイ方法をGitに設定します。

Herokuプロジェクトを開き、[Deploy] → [Deployment method] のうち、[Heroku Git] をクリックし、選択します。



図：Herokuの設定画面

## 4. Hello World!

### 4.1. プロジェクトフォルダの作成

Dropboxを利用していた際はプロジェクトフォルダが自動的に作成されましたが、本稿ではプロジェクトフォルダをご自身で作成する必要があります。

空のフォルダを作成し、以降はそのフォルダをプロジェクトフォルダとして利用します（本稿では「c:¥test¥linebot¥」として解説します。適宜置き換えてお読みください）。

### 4.2. プロジェクトフォルダの設定

プロジェクトフォルダを作成したら、最初に1回だけ設定を行う必要があります。設定は、以下の手順で行います。

#### 4.2.1. Gitの初期化

WindowsではGit Bashで、mac OSではターミナルで以下のコマンドを入力し、プロジェクトフォルダに移動してGitを初期化します。

```
$ cd (プロジェクトフォルダ名)
$ git init
```

先ほど仮定した「c:¥test¥linebot¥」の場合、以下のようになります（「¥」の代わりに「/」を入力します）。

```
$ cd c:/test/linebot/
$ git init
```

#### 4.2.2. Herokuプロジェクトとの接続

次に、以下のコマンドを入力し、Herokuプロジェクトと接続します。

```
$ heroku git:remote -a (Herokuプロジェクト名)
```

### 4.3. PHPファイルの作成

書籍022ページを参考に、プロジェクトフォルダ内にindex.phpを作成しましょう。

#### 4.4. デプロイ

次に、アプリをデプロイします。以下のコマンドを入力します。なお、「(メッセージ)」の部分は自由に入力してかまいません。

```
$ git add .
$ git commit -am "(メッセージ)"
$ git push heroku master
```

今後、アプリを更新した際も、この3行のコマンドでデプロイするので覚えておきましょう。

#### 4.5. 動作を確認する

書籍024ページと同様に、Heroku管理画面右上の [Open app] ボタンをクリックし、動作を確認しておきましょう。ブラウザに「Hello World!」と表示されるはずですよ。

### 5. LINE BOTのデプロイ

LINE BOT用のプロジェクトフォルダを新規に作成した際は、4.2項を参考に初期化しておきましょう。

その後、更新/デプロイの際は4.4項を参考にその都度デプロイしてください。